

新田祐がパワーで魅せる

松山競輪場開設72周年記念「金亀杯争覇戦」は、12月2日、5日の日程で開催される。今シーズンはSS班の新田祐大のほかにも、中川誠一郎、山田庸平、和田真久留、東口善朋、岩津裕介、香川雄介らグレード戦線盛り上げる健脚が各地区から集まる。地元勢は大会連覇を目指す松本貴治をはじめとして橋本強、渡部哲男らが一丸となって強豪を迎え撃つ。冬の松山を制するのは果たして誰か。

輪界随一の破壊力を誇る新田祐大が中心だろう。東京五輪を終えて8月のオールスターから本業の競輪に復帰した。4カ月足らずなかで獲得賞金でのグランプリ出場は厳しく、優勝しかなかった競輪祭だったが準決で惜しくも4着。グランプリ出場



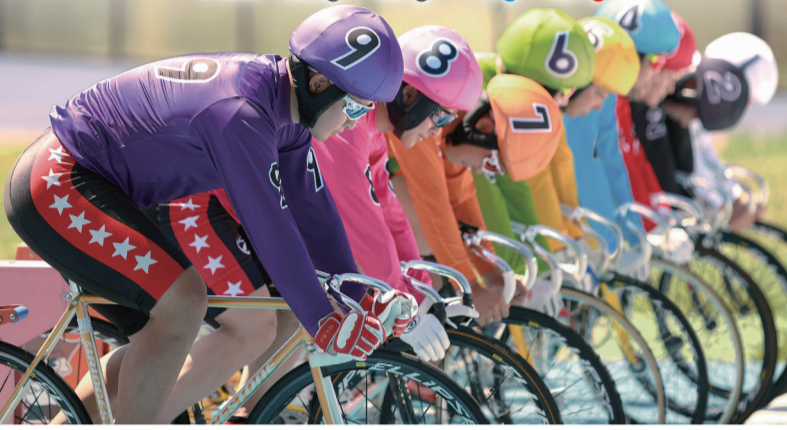
新田祐大



わたしたちらしい
楽しめかた

松山競輪開設72周年記念 金亀杯争覇戦GIII

2021 12/2・3・4・5



松山競輪 電話番号 75# URL <https://www.matsuyamakeirin.jp/>

を逃した。しかしながら、オールスター、共同通信社杯、寛仁親王牌とビッグレースで立て続けて決勝に乗っていて、随所でワールドクラスのスピードを見せている。さらに復帰後はポテンシャルを持って余すことも少なく、別線を早めに仕留めるシーンが目を見く。すでに気持ちも新たなタイトル獲りに向けて切り替えている新田が、気落ちすることなくハイパフォーマンスで、14年以來2度目の松山記念を奪

取しよう。地元勢も戦力は充実している。松本貴治が先陣を受け持ち、橋本強、渡部哲男が援護するラインは強力だ。この大会には実績もあり、松本は71周年、渡部は55、69周年をそれぞれ制覇している。特に71周年では準V橋本、3着渡部と確定板独占を決めた。松本は全日本選抜、高松宮記念杯ではいずれも準決に駒を進めるなど、G1で存在感を示していたが、オールスターでの先頭昇早期追い抜きたため欠場中。この開催が復帰戦となるのでレース動には不安が残る。橋本は11月岸和田の準決で門田凌の逃げを差して愛媛ワンツー、競輪祭も一次予選1で2着などまずまずの近況だ。渡部は好調とは言えないが、11月防府記念1②④⑤着など、徐々に上向いてきた感がある。好連係を決めて地元の意地を見せるか。

自力攻撃の破壊力には相変わらず素晴らしいものがある中川誠一郎の単にも食指が動く。オールスターでは久しぶりのG1優等を果たすと、寛仁親王牌は②②①着と3連対の活躍を演じた。また、九州勢にとっては、



松本貴治



中川誠一郎

山田庸平の追加配分は大きなプラス材料になる。寛仁親王牌では準決で中川とタッグを組んだ。中川は不発になったが、中川マークから追い込んだ山田は自身2度目となるG1ファイナルのキップをつかんだ。続く競輪祭でも一次予選をまくりで連勝。郡司浩らを破り、ダイヤモンドレースにも進出した。今シリーズも中川との連係になれば、番手が有力。中川のスピードにきっちり付けて、展開に応じた立ち回りから活路を見出す。

和田真久留、松谷秀幸の南関勢も侮れない。和田は2カ月病欠したが、復帰2戦目の11月和歌山は連勝で優参すると、競輪祭では一次予選1で平原康らを相手に勝ち星をゲット。根田空史、野口裕史と同地区に積極的なタイプもいて、ラインの厚みを生かした連係になれば、他地区を相手に好勝負に持ち込める。

稲垣裕之、東口善朋の近畿勢も忘れてはならない。特に東口は成績が安定していて、突っ込みには注意したい。

松山記念 金亀杯争覇戦 出場予定選手

※2021年11月26日現在のデータです。

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点							
SS	新田祐大	福島	90期	117.72	S1	山田庸平	佐賀	94期	115.87	S2	前田拓也	大阪	71期	96.44	S2	高橋隆太	静岡	90期	94.12	S2	藤井昭吾	滋賀	99期	99.38		
S1	金子真也	群馬	69期	105.36	S1	芦澤辰弘	茨城	95期	108.46	S2	那須久幸	福岡	71期	100.47	S2	竹澤浩司	富山	90期	95.13	S2	名川豊	福岡	99期	94.78		
S1	成清貴之	千葉	73期	104.20	S1	松谷秀幸	神奈川	96期	110.85	S2	松田治之	大阪	73期	101.56	S2	伊原弘幸	福井	90期	98.80	S2	本郷雄三	熊本	99期	97.74		
S1	香川雄介	香川	76期	111.77	S1	和田真久留	神奈川	99期	113.25	S2	水書義弘	千葉	75期	99.97	S2	吉松直人	高知	90期	96.32	S2	小林申太	茨城	101期	95.09		
S1	野田源一	福岡	81期	110.16	S1	阿部力也	宮城	100期	112.03	S2	荻野哲	神奈川	75期	98.80	S2	小岩大介	大分	90期	106.63	S2	月森亮輔	岡山	101期	99.18		
S1	濱田浩司	愛媛	81期	101.40	S1	川口聖二	大阪	103期	104.92	S2	稲村好将	群馬	81期	99.29	S2	中村敏之輔	北海道	91期	103.10	S2	山本直	岡山	101期	102.05		
S1	渡部哲男	愛媛	84期	109.75	S1	石塚輪太郎	和歌山	105期	104.32	S2	中村昌弘	広島	81期	98.79	S2	岸澤賢太	埼玉	91期	100.87	S2	長尾拳太	岐阜	103期	105.65		
S1	吉田敏洋	愛知	85期	110.44	S1	築田一輝	静岡	107期	101.86	S2	立花成泰	岡山	82期	93.75	S2	網谷竜次	香川	91期	101.91	S2	野口大誠	熊本	105期	101.23		
S1	川村晃司	京都	85期	105.77	S1	取島雄吾	岡山	107期	109.61	S2	佐竹和也	徳島	83期	97.61	S2	伊藤信	大阪	92期	102.24	S2	畝木努	岡山	107期	92.87		
S1	東口善朋	和歌山	85期	114.66	S1	小川真太郎	徳島	107期	109.21	S2	山口貴弘	栃木	84期	99.83	S2	佐藤雅春	宮城	94期	97.69	S2	酒井雄多	福島	109期	104.00		
S1	中川誠一郎	熊本	85期	113.44	S1	佐々木豪	愛媛	109期	104.67	S2	石毛克幸	千葉	84期	102.55	S2	佐藤龍二	神奈川	94期	104.34	S2	能代谷元	神奈川	111期	93.22		
S1	稲垣裕之	京都	86期	111.48	S1	落澤鴻太郎	群馬	111期	106.45	S2	小橋秀幸	青森	85期	97.19	S2	橋谷明誉	広島	94期	96.05	S2	望月一成	静岡	111期	100.57		
S1	中村圭志	熊本	86期	106.58	S1	野口裕史	千葉	111期	106.04	S2	加藤圭一	神奈川	85期	100.19	S2	磯田旭	栃木	96期	104.92	S2	田尾駿介	高知	111期	101.45		
S1	岩津裕介	岡山	87期	111.20	S1	松本貴治	愛媛	111期	111.00	S2	小林則之	静岡	85期	97.50	S2	山下一輝	山口	96期	107.53	S2	門田凌	愛媛	111期	108.25		
S1	大森慶一	北海道	88期	108.18	S2	大竹慎吾	大分	55期	93.45	S2	原真司	岐阜	86期	104.08	S2	根本哲吏	秋田	97期	103.65	S2	樋口開士	東京	113期	96.41		
S1	福田知也	神奈川	88期	107.17	S2	西川親幸	熊本	57期	101.38	S2	三ツ石康洋	徳島	86期	100.54	S2	赤塚悠人	山形	97期	97.89	S2	渡邊直弥	静岡	113期	93.39		
S1	山口泰生	岐阜	89期	107.12	S2	室井竜二	徳島	65期	98.90	S2	柳谷崇	岡山	87期	94.09	S2	二條祐也	徳島	97期	94.46	S2	橋本瑠偉	佐賀	113期	95.77		
S1	橋本強	愛媛	89期	110.73	S2	小沼良	埼玉	68期	101.12	S2	大屋健司	広島	87期	100.05	S2	新山将史	青森	98期	104.69	S2	石井洋輝	福島	115期	98.42		
S1	河村雅章	東京	92期	106.25	S2	山口富生	岐阜	68期	103.61	S2	三宅裕武	三重	88期	98.39	S2	箱田優樹	青森	98期	102.68	S2	谷和也	大阪	115期	95.42		
S1	三谷将太	奈良	92期	107.73	S2	大庭正紀	富山	70期	95.11	S2	岡本大嗣	東京	88期	100.81	S2	吉田茂生	岐阜	98期	102.44	S2	石原颯	香川	117期	107.00		
S1	不破将登	岐阜	94期	105.55	S2	伊藤正樹	愛知	71期	100.07	S2	筒井裕哉	兵庫	89期	97.54	S2	好永晃	佐賀	98期	93.78							
S1	根田空史	大阪	94期	109.68	S2	舛井幹雄	三重	71期	95.53	S2	吉本卓仁	福岡	89期	102.27	S2	松岡孝高	熊本	98期	99.63							